

第八十一回 帝國議會 貴族院 北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十一鐵道 買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案 特別委員會議事速記録第六號

付託議案(追加)

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案 昭和十八年二月二十二日(月曜日)午前十一時五十七分開會

○委員長(公爵島津忠承君) 是ヨリ開會致シマス、前回ニ引續キマシテ大藏當局ニ對スル御質疑ヲ願ヒタイト思ヒマス

○竹内可吉君 私ハ公債ノ消化ノコトニ付テ色々御伺ヒシタイト思ッテ居リマシタケレドモ、衆議院ニ於ケル政府當局ノ非常ニ詳細ナ御答辯乃至御說明ヲ讀ミマシテ、私ノ伺ヒタイコトハ實ハ大部分分クノデアリマスガ、ソレデ重複シタコトハ此處デ御尋ヲシナイコトニシタイト思ヒマス、從ッテアレ

デ尙私ニ分ラナイ點ダケヲ二三御尋ネ致シタイト思ヒマス、先ヅ此ノ消化率ノ趨勢ト申シマスカ、此處數年ノ率ノ變化ヲ極ク簡單ニ一應御伺ヒシマシテ、其ノ次ニ日銀ノ手持ガ此處數年下ウ云フ風ニナッテ居ルノデアリマセウカ、其ノ二點ヲ先ヅ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、尙是ハ數字デゴザイマスカラ今若シ御手許ニナケレバ、他ノ問題ヲ御伺ヒシテ居ル間ニ戴ケマシレバ、其ノ問題ノ御答ノ後デ伺ッテモ宜シウゴザイマス

○政府委員(谷口恒二君) 御答ヘ致シマス、支那事變發生以來ノ新規公債ノ發行額及ビソレノ消化ノコトデアリマスガ、主トシテ消化ノ割合ヲ此處デ御答ヘ申上ゲルコトニ致シタイト思ヒマス、年度別デ申上ゲマスコトト、年別ニ申上ゲマスコトトハ多少ノ數字ガ違フノデアリマスカラ、年別ニ申上

ゲルコトニ致シマス、支那事變發生以來ノ只今昭和十七年十二月末迄ノ全部ノ消化割合ハ、八七・三パーセントデアリマス、是ハ全部デアリマス、昭和十二年支那事變發生以來昭和十七年十二月末迄全部デ、發行額三百九十六億ニ對シテ消化額三百四十六億デアリマシテ、八七・三パーセントニ當ルノデアリマス、之ヲ年別ニ申上ゲマスト、十二年カラ年別ニ順次申上ゲマスト、十二年ガ五五・五パーセント、十三年ガ八七・五パーセント、十四年ガ八九・二パーセント、十五年ガ七八・六パーセント、十六年ガ八三・九パーセント、十七年ガ九六・二パーセントト云フ關係ニ相成テ居リマス、之ヲ全體支那發生以來只今迄ノ處、全部デ申上ゲマスト、八七・三パーセント、初メニ申上ゲマシタ通りデアリマス、日本銀行ノ内國債手持額ハ十三年度末十六億七千百萬圓、十四年度末二十四億四千百萬圓、十五年度末三十六億三千三百萬圓、十六年度末四十九億五千萬圓、十七年度十二月末現在五十五億五千百萬圓、左様ニナッテ居リマス

○竹内可吉君 能ク分リマシタガ、ソコデ日銀ノ手持ハ漸次殖エテ居ルト云フコトハ是デ分ツタト思ヒマス、ソコデ此ノ今後ノ消化率ノ方ハ、殊ニ此ノ十七年度末等大變宜シイノデアリマスガ、此ノ趨勢ハ非常ニ結構ダト思フノデアリマスケレドモ、日銀ノ手持ハ漸次増加シテ居リマスガ、ソコデ今後ノ消化ニ對スル見透シハドウ云フ風ニ當局デハ御考ニナッテ居ルノデアリマスカ、是ハ國民所得トノ關係モ大イニアルコトデヤナイ

カト思フノデアリマシテ、從テ國民所得ノ今後ノ見透シト云フコトニ觸レナケレバナラスノデヤナイカト、斯様ニ思フ次第デアリマス、ソレ等ノ點ニ付テノ御考ヲ伺ヒタイト思ヒマスガ、實ハ是ハ第三段ニ御伺ヒシタイコトダト思ヒマスケレドモ、ソレニ關係ガアリマスガ、先般新聞デ見マスト大藏大臣ガ、千億圓ノ公債發行モ決心シナケレバナラスト云フコトヲ、議會デ御述ベニナッタノデアリマセウカ、或ハ外デ御話ニナッタノカ知リマセウカ、チヨット新聞デ見

タノデアリマス、是ハ私ノ注意ヲ非常ニ引イタ問題デアリマシタ、處ガ時々人ノ集ル所デ矢張り是ガ話題ニ實ハ上ッテ居ルノデアリマシテ、將來ノ公債ノ額ト云フコト、關聯シテ、或程度ノ影響ヲ與ヘテ居ルヤウチ感ジガシマスノデ、何カ之ニ付テサウ云フ不安ヲ除クヤウナコトヲ此所デ若シ御聽キ

出來マシレバサウ云フヤウナ場合、是ハ斯ウダト云フ風ニ誤解ヲ解クコトモ出來ルヤウニ私思フノデアリマスガ、今述ベマシタ點ニ付テ、何カ御說明ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(谷口恒二君) 公債ノ將來ニ於ケル消化ノ方策及ビ其ノ他ノ點ニ關シマシテハ、仰セノ通りニ衆議院デ色々大臣ガ御説明申上ゲタ所ガアツタト思フノデアリマス、公債ノ消化ノ方法ト致シマシテハ、只今實行致シテ居リマスル所ノ方向ニ副ヒマシテ、今後モ努力ヲ續ケテ行カウト云フ大體ノ考デアルノデアリマスルガ、今日ニ於キマシテハ國債ノ消化ニ付キマシテハ、當初ニ於

キマシテ矢張り金額ヲ消化シタイト云フ希望ヲ以テマシテ、努力ハ致シテ居ルノデアリマスルガ、年々若干ノ不消化額ヲ生ジテ居ルコトハ事實デアリマス、併シ之ヲ大體カラ申シマスルナラバ、事變以來今日迄ノ成績ヲ顧ミマスル時ニハ、巨額ノ公債發行ニ關シマシテ、其ノ消化ノ率ハ決シテ悲觀スベキモノデナク、大體ニ於テ見マシテモ相當順調ニ行ッテ居ルモノデハナイカト云フ

風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、今日國民ノ直接ノ證券投資ト云フモノニ相當額ヲ依頼致シテ居リマシテ、其ノ他ノモノニ付キマシテハ金融機關、又政府筋ノ預金部其ノ他ニ於テ之ヲ消化スルコトニ致シテ居ルノデアリマス、今後ニ於キマシテハ、此ノ公債ノ賣買機構ト云フヤウナモノニハ、尙一段ト工夫ヲ致スベキ部分ガ殘ッテ居ルヤウニ考ヘテ居リマシテ、目下其ノ方面ニ折角工夫ヲ進メテ居ルノデアリマス、ト申上ゲマ

スルノハ國民ノ直接ノ投資ノ消化ノ方面ニ於キマシテ、賣買機構ノ完備致シテ居リマセウカ爲ニ、必要アツテ之ヲ手放ス場合ニ、不當ナル價格デ以テ叩カレテ居ルト云フヤウナコトガ間々アルヤウニ見受ケラレルノデアリマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ、此ノ機構ヲ整備スルコトニ依ッテ、國民ハ其ノ公債ノ保有額ヲ段々増シテ行キマスルガ、同時ニ必要アル場合ニハ安心シテ正當ナル價格ヲ以テ之ヲ金錢ニ換ヘ得ルト云フコトノ機構ヲ整備スルコトニシマシテ、證券ヲ安ンジテ持ット云フ傾向ガ段々確保サレテ行クノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居ルノ

デアリマス、證券ノ直接保有ノ場面ニ於キマシテモ、我が國トシテノ今日ノ狀況カラ見マス、是ハマダ將來十分發展ノ増加ノ餘裕ガアルト云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、大體ニ於キマシテハ今日ノ消化ノ方針ノ線ニ沿ヒマシテ、今後モ進シテ參リタイト考ヘテ居ルノデアリマス、勿論此ノ國債ノ消化ノ關係ニ付キマシテハ、國民所得ノ關係等モ勿論是ハアルト思フノデアリマス、國民所得ノ將來ノ發展如何ニ依リマシテ、國家ガ財政資金トシテ使用シ得ル程度モ擴張ラレルト考ヘルノデアリマス、之ニ付キマシテハドウ云フ傾向デソレガ將來國民所得ガ殖エテ行クカト云フコトニ付キマシテハ、是ハマダ申上ダゲルガケノ準備ガ出來テ居リマセヌ、昨年ハ議會ニ於キマシテ大體ノ目標トシテ四百五十億ト云フコトヲ申上ダマシタ、本年ハ昭和十八年ノ見込トシテ大體五百億ト云フコトヲ申上ダタノデアリマス、此ノ消化ガ、國民所得ノ増加ノ趨勢ガ將來ドウ云フ風ニ、其ノ次ノ年ハドウデアるか、其ノ次ノ年ハドウデアるかト云フヤウニ申上ダゲルガケノ準備ハ出來テ居ラナイノデアリマス、是等ハ將來ノ生産狀況等ニ非常ニ關係ガアルノデアリマシテ、將來期待サレテ居ル生産ノ増大ト共ニ、國民所得モ増加シテ行クモノデアルト心得テ居ルノデアリマス、又衆議院ニ於キマシテ大藏大臣ガ千億云々ト云フコトハ、恐ラク是ハ或委員會ニ於テサウ云フ發言ガアッタノデアルト思フテ居リマス、マダ私モ速記録ハ見マセスケレドモ、サウ云フコトガアッタト思フノデアリマス、之ニ付キマシテハ大藏大臣ノ所論ハ、恐ラクハ將來南方地域、東亞共榮圈ノ擴大ニ依リマシテ、其

ノ豐富ナ資源ヲ我が國ノ生産ニ利用シ得ルコトニ依リマシテ、我が國ノ生産ノ規模ハ從來ヨリモ幾層倍ノ擴大ヲ見ルコトニ相成ルト云フ將來ヲ考ヘマス時ニハ、今日昭和十七年度末ニ於テ國債ノ現在額五百十四億圓デアリマスガ、更ニ大キナ公債ヲ負擔ヲ致シマシテモ、何等苦痛デナク之ヲ消化シテ行クコトガ出來ララウト、斯様ナ見込ヲ申述ベタノデアルト思フテ居ルノデアリマス、其ノ考ヘ方ハ大體御贊同ヲ得ラレルト思フノデアリマシテ、我が國ガ東亞共榮圈ノ各地ニ豐富ナ資源ヲ獲得致シマシタコトハ、將來ノ國民所得及ビ國家資金ノ増大ニ對シテ多大ノ希望ヲ與ヘルモノデアルト云フコトヲ堅ク考ヘテ居ル次第デアリマ

持ツテ、公債ノ前途ト云フモノモ明ルクナッタノデヤナイカト、斯ウ思フノデアリマシテ、兎ニ角今日ハ非常ニ公債ノ前途ト云フモノニ付テ微妙ナ關係ニナツテ居リマスカラ、ア、云フヤウニ新聞デ大キク扱ハバ扱フ程、新聞等ノ取扱ニハ一ツ十分氣ヲ付ケラレル方ガ宜イコトデヤナイカト思フノデアリマス、ソコデ考ヘマス、將來ニ對スル公債價值ノ不安ト云フヤウナモノハ微塵モナイト確信スルノデアリマス、然ル處、極ク詰ラスコレノ例ヲ一ツ申上ダマスガ、是ハ衆議院ノ委員會デ話題ニ上ツテ居ラナカッタト思フノデアリマス、然ル處、最近東京市内ノ某警察署長ガ、公債ヲ賣ルコトヲ私ノ聽イタノデハ制限ト申シマシタガ、ソレ程ハツキリシタ言葉デヤナイト思フテ居リマセケレドモ、何カ申合ヲヤルノダト云フコトヲ言ツタトカ云フ話ナノデアリマス、是ナドモ非常ニ不用意デアリマシテ、益、大衆ノ公債ニ對スル心配ヲ高メルト云フコトニナルノデヤナイカト思フノデアリマス、當局ニ於カレテハ必要ナ場合ニハ、簡易ニ賣却ガ出來ルト云フヤウニシテ置クノガ、價值ヲ維持スル所以ダト思フノデアリマシテ、恐ラク今ノ某警察署長ノ言葉ナドハ親ノ心子知ラズデヤナイカト思フノデアリマス、是ト關聯シマシテ、實情ヲ能ク御承知ノコトナンデアリマスガ、例ヘバ町會トカ隣組等ニ於キマシテ、矢張り同ジヤウナ氣持ガ時々一般ノ大衆ニ映ルヤウナコトガアルヤウデアリマス、ソレ等ノ點ニ付テ當局ハドウ云フ風ヲ取締ノ方針、指導ノ方針デ居ラレルノデアリマセウカ、更ニ進シテ公債ノ割當……割當ト云フ言葉ハ適切デアリマセスケレドモ、町會、隣組ノ所屬ノ人々ノ希望ヲ集メ

テ居ラレル、是ガ多少トモ無理デアリマスト、先々甚ダ心配ナヤウナ氣ガスルノデアリマシテ、隣組等ノ取扱ヲ色々聽イテ見マスト非常ニ區々デアリマシテ、相當組内ニ對シテ壓迫感ヲ與ヘテ居ル所モアリ、又サウデナクモウ少シ努力シテ宜イノデハナイカト思フ位ニ緩漫ナ所モアルヤウデアリマス、サウ云フモノニ對シテ指導ノ方針ヲドウ云フ風ニオヤリニナツテ居リマスカ、而シテソレガ中央デハ何方方針ヲ決メテ居ラレマシテモ、本當ニ末端迄ソレガ行ハレテ居ルト御思ヒニナリマスノデアリマセウカ、是等ノ點ニ付テ現狀ヲ將來ノ御考ヘ方ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○政府委員(谷口恒二君) 此ノ賣買機構ノ

○竹内可吉君 今賣買機構ノ完備ヲ將來ニ付テ考ヘテ居ルト云フコトデアリマスガ、是ハ誠ニ結構ナコトデアルト思ヒマス、是非急速ニ實現スルヤウニ御努力ヲ御願ヒ申上ダタイモノダト思フノデアリマス、今日國民ノ公債ヲ持テマス末端ニ於ケル事情等ハ、能ク政府當局モ御承知ノコトダト思フノデアリマス、從ツテ此處デ私ハソレヲ諄々ト申上ダマセスケレドモ、要スルニ問題ハ賣買機構ヲ完備スルト云フコト以外ニ方法ハナイノデヤナカラウカト、斯ウ思フノデアリマス、ソコデ今御話ニナリマシタ大藏大臣ガ千億云々ト云フ問題モ、私新聞ヲ見マシタ時ニ、恐ラク南方ノ問題ヲ御考ニナツテノコトデヤナカラウカト思ヒマシテ、速記録ヲ實ハ探シテ見マシタガ、何處ニモ見當ラナカッタノデアリマス、新聞ニ一言南方ノ問題ヲ若シ書イテ呉レマシタナラバ餘程國民ハ安心ヲシ、將來ニ希望ヲ非常ニ強ク

コトニ付テハ只今御贊成ヲ得タノデアリマスガ、是ハ必要ナ場合ニハ容易ニ且確實ニ正當ナ價格ヲ賣レルト云フコトヲ確立スルト云フコトガ、公債ヲ買ヒ易クスルノダト云フ考ヘ方ニハ間違ハナイト思フノデアリマス、今色々ナコトヲ私共モ直推、間接ニ耳ニ致シテ居リマシテ、非常ニ驚クベキ安イ價格デ以テ叩イテ集メテ居ル者ガアルト云フヤウナコトモ色々聞クノデアリマス、之ヲ賣ル時ニハ必要ガアツテ金ニシナケレバナラナイ時ニハ金ニナリ得ルト云フコトノ安心ヲ與ヘルト云フコトガ、消化ノ根本デアルト云フ考ヘ方ニハ間違ヒハナイト思フノデアリマスガ、矢張り善意ヲ以テ心配サレル向ニ於キマシテ色々ノコトガアルヤウデアリマス、只今例ニ御引キニナリマシタヤウナコトモ、或ハ善意ヲ以テ行ハレテ居ルカモ知レスト思フノデアリマス、併シソレハ必要ナコトニ使フ爲ニ金ニ換ヘルト云フコトハ、是ハ好マシクナイデアリマ

コトニ付テハ只今御贊成ヲ得タノデアリマスガ、是ハ必要ナ場合ニハ容易ニ且確實ニ正當ナ價格ヲ賣レルト云フコトヲ確立スルト云フコトガ、公債ヲ買ヒ易クスルノダト云フ考ヘ方ニハ間違ハナイト思フノデアリマス、今色々ナコトヲ私共モ直推、間接ニ耳ニ致シテ居リマシテ、非常ニ驚クベキ安イ價格デ以テ叩イテ集メテ居ル者ガアルト云フヤウナコトモ色々聞クノデアリマス、之ヲ賣ル時ニハ必要ガアツテ金ニシナケレバナラナイ時ニハ金ニナリ得ルト云フコトノ安心ヲ與ヘルト云フコトガ、消化ノ根本デアルト云フ考ヘ方ニハ間違ヒハナイト思フノデアリマスガ、矢張り善意ヲ以テ心配サレル向ニ於キマシテ色々ノコトガアルヤウデアリマス、只今例ニ御引キニナリマシタヤウナコトモ、或ハ善意ヲ以テ行ハレテ居ルカモ知レスト思フノデアリマス、併シソレハ必要ナコトニ使フ爲ニ金ニ換ヘルト云フコトハ、是ハ好マシクナイデアリマ

セウ、併シナガラ必要アル場合ト云フコトハ、是ハ實際アルノデアリマスカラ、サウ云フ場合ニハ直グ最寄りノ所へ行ケバ金ニ換ル、我々ノ今考ヘテ居リマスコトハ、現在郵便局ニ参リマシタナラバ買上制度ガアルノデアリマス、ソレハ金額ニ制限ハアリマスノデアリマス、又郵便局賣出ノモノニ限ルト云フヤウナコトガアルノデアリマスルガ、現在デハ郵便局ニ行ケバ買上ノ制度ハアルノデアリマス、將來ハ郵便局ノミナラズ金融ノ店、銀行、ヘデモ何處ヘデモ行ッテ賣ルコトガ出來ルト云フ風ニシタイト思フノデアリマス、ナカクハ是ハ手ガ込ムノデアリマスガ、サウ云フ仕組ニ致シマシテ、價格ノ如キモ一般ニ公示致シマシテ、三十圓ノ公債ナラバ幾ラ買上ガルト云フノデ、若干ノ手数料ト云フ觀念ハ其處ニ入ルカモ知レマセヌガ、兎モ角モ公表サレタル價格デ以テ、必要アル場合ニハ直グニ金ニ換ルト云フ制度ヲ確立スル、思ヒ切ッテソレヲスルト云フコトガ安心シテ證券ヲ持タセ得ル所以デアルト斯様ニ考ヘマシテ、是ハ急速ニ實現致シタイト思フテ居リマス、此ノ議會ニ提案致シマシテ御賛成ヲ得マシタ法案ノ中ニモ、其ノ機構ヲ確立スル上ニ於テ必要ナ規定モ御承知ノ通り二三入ッテ居ルノデアリマシテ、早速此ノコトニ掛リタイト思フテ居リマス、色々心配シテ公債ヲ賣ラナイ申合セラシヨウ、ソレヲ申合セルト云フコトハ時アツテハ強制ト云フヤウナコトニナルコトモアルト思フノデアリマス、此ノ種ノコトハ能クアルノデアリマシテ、公債ヲ政府ニ返シテシマフ運動ヲ大ニ首唱シテヤツテ、是ハ善意カモ知レナイノデアリマスルガ、却テ政府トシテハ迷惑ヲスル、又假

ニ獻金ヲ獎勵スルト云フヤウナ獻金ノ申合セフスル、動機ハ良イカモ知レヌノデアリマスガ、擴マツタ處ニ於テハ測ラザル、面白カラザル、社會上、政治上ノ事ニ影響ヲ及ボス、言葉ハ悪イカモ知レマセヌガ、有難迷惑ノ申合セト云フコトガ多クアルノデアリマス、是等ノ向ニ付キマシテハ、聞キマシタ時ニハ能ク懇談ヲシニ參ルコトニ致シテ居リマス、併シ動機ガ非常ニ善意デアリ、ソレヲ良イト思込ンデ居ル向々デハ、ナカナカ申シマシテモ是ハ良イト云フコトデ一生懸命ニナツテ居ル向モアルノデアリマス、扱ヒニ困ッテ居ル所モアルノデアリマスガ、強制ガマシクナルト云フコトハ私共トシテモ良イトハ思ッテ居リマセヌ、賣買機構ヲ整理確立致シマシテ、買フ時ハ何時デモ買ヘル、又賣ル時モ何時デモ賣レル、ト云フコトヲ根本ノ大道トスルノガ、證券消化ノ念願デアアル、ソレカラ町會、隣組ノ方ノ公債ノ所製割當ニ付キマシテハ、非常ニ是ハ苦心ノ存スル所デアリマシテ、色々ノコトガ之ニ付キマシテモ耳ニ入ツテ來ルノデアリマス、總ジテ精粗……キツサ、弱サト申シマスルカ、精粗ノ度合ト云フモノハ、例ヘバ東京市内ニ於キマシテモ必ズシモ同一デナイト思フテ居リマス、ソレハ或處ニ於キマシテハ相當精密ニ行ハレテ居ル、或處ニハ割合ニソレガ大マカニ行ハレテ居ル、從ツテ割當分擔ヲスル強サノ程度ニ於キマシテハ、部分的ニ考ヘマスト云フト、一樣ニハ行ッテ居ナイ部分ガアルト思フノデアリマス、併シハ段々一樣ニナルト云フ傾向ヲ取ッテ居リマス、サウデアリマスルカラ御尋ノ點ノ、一樣ニドウ云フヤウニ認識シテ居ルカト云フ點ニ付キマシテハ、必ズシモ一樣ニ行ッテ

居ルトハ認識シテ居ラナイノデアリマシテ、是ハ理想トシテハ同ジ度合ニ、強過ギルモノハ弱クシ、弱イモノハ強クシ、同ジ度合ニ持ッテ行クベキモノデアアルカモ知レナイノデアリマスガ、差當ッテハ此ノ際ノコトデアリマスルカラ、總ジテ出來ルダケノコトヲシテ戴クト云フヤウニ度合同ジヤウニ、其ノ方向ニ持ッテ行クト云フコトデアラウト思フノデアリマス、割當ノ方法ニ付キマシテハ、各町會隣組等ニ於テ是亦方法ハ同ジデナイト思フノデアリマス、全國的ニ見マシテモ、之ニハ同ジヤウナ方法ト云フ一ツノ方法ガ決メテアル譯デモゴザイマセヌ、是ハ色々何カ劃一的ニ非常ニ明快ナ方法デ、全國何處デモソレヲ適用シテピタピタ行クヤウナ方法ガ非常ニ分り易クテ便利ダトモ思フノデアリマスガ、貯蓄乃至公債ノ割當、直接消化ト云フ問題ニ付キマシテハ所得面ヲ見マスト共ニ、消費面ニ付キマシテ各家々ノ所得等ガ千種萬様デアラウト云フコトガ考ヘラレマストノデ、市町村民稅等ヲ標準ニスル、又最近ニ於キマシテハ町會費ヲ標準ニスル居ル向々モアルヤウデアリマスルガ、サウ云フモノモ基礎ノ標準トスルト同時ニ、矢張り町會ノ理事者ニ於キマシテ其ノ家々ノ消費面ヲ的確ニ見テ、的確ト云フコトモ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、大體ソレヲ推察シテ、サウシテ宜シキヲ得ルヤウナ方向ニシテ行クト云フノガ今日……マアサウ云フ方法デヤラセルノガ一番宜イダラウト云フ程度ノ結論ニ只今ノ所デハ落チ著イテ居ルノデアリマスルガ、此ノ方針ニ付キマシテハ一時科學的ノ割當方法ヲ考ヘナケレバイカスト云フ御論モアリマシタ、當局ニ於キマシテモ

ソレヲ參照致シマシテ、研究ヲシテ、ドウ云フ科學的ニ、何ト何トノ標準、又或ハ其ノ方法論ト致シマシテハ、大體最低額ト云フモノハコレコレノダケノモノデ宜シト、サウ云フ結論ヲ得マシテ、所得ノ中カラソレヲ差引イタモノヲドウスルト云フヤウナ方法モ、或ル一ツノ方法トシテ考ヘラレルノデアリマスルガ、是ハナカクサウ云フコトハ困難、殆ド不可能デアリマス、最低ノ生活ニ必要ナル經費ヲ算出スル、是ハ色々家庭ニ應ジマシテ沿革的ニモ、又其ノ地位ニモ、又境遇、色々ニ關係ガアリマシテ、サウ云フコトデ一律ニ決メル譯ニモ參ラヌノデアリマス、只今ノ所デハ、矢張り市民稅デアリマスルカ、サウ云ツタヤウナ大體ノ標準ト云フモノヲ基ト致シマシテ、ソレニ各般ノ事情ヲ考ヘテ、修正ヲ加ヘテ調整ヲシテ行クト云フコトニ大體ノ方針ヲ置イテ、ソレデヤツテ戴クト云フ所ニ只今ノ處ハマダ將來殘サレテ居ル問題トシテ考ヘ、研究ヲ續ケナケレバナラヌ問題デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、要シマスルニ其ノ割當ニ付キマシテハ、ナカクハ是ハ精粗一樣ニハ參ッテ居ラナイト考ヘテ居リマス、又割當ノ方法ニ付キマシテハ各町會、隣組ニ於キマシテ此ノ實際ノ問題ニ付テハ苦心ノアラレルコトデアラウ、簡單ニ行カナイ、簡單ナ標準、規矩準繩ト云フモノガナイノデアリマシテ、ナカクハ簡單ニハ行カナイ、御苦心ノアル所デアラウト、斯様ニ只今ノ所デハ事態ヲ認識シテ居ル次第デアリマス

○竹内可吉君 只今賣買機構ノ狙ヒ所ニ付テ御説明ヲ伺ヒマシタガ、非常ニ御尤モナ

考デアリマシテ、私モ是ハ公債ト云フモノ
ヲ、理由ノ如何ヲ問ハズ何時デモ右カラ左
ニ賣レルンダト云フコトニスルコトハ必要
ノナイコトデアリ、却テソレレハ良クナイ
ト思フノデアリマスケレドモ、實際是ガ必
要ダト認定シ得ルヤウナ場合ニハ適正ナ値
段デ以テ買テ貰ヘルンダト云フ一ツノ安
心ト申シマスカ、サウ云フモノヲ國民大衆
ニ與ヘルコトガ一番大切デヤナイカト斯ウ
マア思フノデアリマス、今郵便局ノ例モ私
モ承知シテ居リマスガ、是ノ實際モ御承知
ダト思フノデアリマスケレドモ、ナカ
此ノ郵便局カラ買ツタモノハ、郵便局ヘ持ッ
テ行ケバ又郵便局デ買戻シニ應ジテ呉レル
ノダト當初ハ皆思ッテ居ッタヤウデアリマ
スガ、最近段々ナカノサウ行カナイノダト
云フ空氣ガ一般ニ充チテ來タヤウデアリマ
ス、サウ私ハ感ズルノデスガ、ソコデ郵便
局ダケデナク、一般ノ銀行ヲモ其ノ機關ト
シテ考ヘヨウト云フ考ヘ方ハ、私非常ニ實
際ニ即シテ御意見デヤナイカト思フノデア
リマス、郵便局ヨリハ銀行ノ方が、同じ必
要デアルカドウカト云フヤウナ認定ヲシタ
場合ニ、何ト云ッテモ矢張り當リガ柔イト
思フノデアリマス、十分希望者ヲ納得サセ
ルヤウナ應對ガ出來ルト云フコトハ考ヘラ
レルヤウニ思フノデアリマス、マア此ノ點
ハサウ云フ御氣持ノヤウデアリマスカラ、
大變結構ダト思フノデアリマスガ、最後ニ
私一ツ希望ヲ申上ゲテ質問ヲ止メマスガ、
今後何年續クカ分ラナイ戰爭デアリマスカ
ラ、此ノ公債ノ取扱ニ付キマシテハモウ申
ス迄モナイコトデアリマスケレドモ、將來
ニ對スル價值ノ維持ト云フコトニ、何處迄
モ矢張り重點ヲ置カレテ居リマス此ノ中

央ノ御方針ガ、末端迄徹底スルト云フコト
ニ十分一ツ御努力願ヒタイト思フノデアリ
マス、私ハ是デ質問ヲ止メマス
○委員長(公爵島津忠承君) 他ニ大藏當局
ニ對スル御質疑ハゴザイマセスカ、御質疑
ガナイヤウデアリマスカラ、本日本委員會
ニ併託サレマシタ昭和十二年法律第八十四
號中改正法律案、政府當局ノ説明ヲ此ノ
實際ヒタイト思ヒマス

ニ充ツルコトト致シマシタル等ニ件ヒマシ
テ、是亦今後ニ於ケル事務ノ簡捷ヲ圖ル趣
旨ノ下ニ、昭和十三年法律第二十三號中所
要ノ改正ヲ、本法律案ノ附則ヲ以テ行フコ
トト致シテ居リマス、以上ノ理由ニ基キマ
シテ、本法律案ヲ提出致シタ次第デアリマ
ス、何卒御審議ノ上御贊成ヲ御願ヒ致シマ
ス

○政府委員(谷口恒二君) 本委員會ニ併託
ニ相成リマシタ昭和十二年法律第八十四號
中改正法律案提出ノ理由ニ付キ御説明申上
ゲマス、臨時軍事費ニ付キマシテハ、第七
十二回乃至第七十九回帝國議會ノ協贊ヲ經
マシテ、其ノ財源ノ一部ニ充ツル爲、政府
ハ三百九十四億千九百五十萬圓ヲ限リ公債
ヲ發行シ、又ハ借入金ヲ爲シ得ル權能ヲ得
テ居ルノデアリマスルガ、今回ノ臨時軍事
費二百七十億圓ノ追加計上ニ件ヒマシテ、
其ノ所要財源中、一般計會及特別計會ヨリ
ノ繰入金等ヲ以テ充當シ、尙不足スル額ニ
付キマシテハ、公債又ハ借入金ノ財源ニ依
ルコトヲ要シマスルノデ、右ノ法定限度額ノ
増加ヲ必要ト致シマスル處、今後ニ於ケル
事務ノ簡捷ヲ圖ル等ノ趣旨ニ依リマシテ、
右限度額ヲ、臨時軍事費特別計會ニ於ケル
歲出豫算額ヨリ、當該特別計會ニ於ケル他
會計ヨリノ受入金、其ノ他ノ普通歲入ノ豫
定額ヲ控除シタル額ニ相當スル金額ニ改ム
ルヲ適當ト認メタノデアリマス、尙朝鮮總
督府、臺灣總督府、樺太廳及關東局ノ各特
別會計ニ於ケル、今回ノ増稅等ニ依ル收入
額ノ一部、竝ニ朝鮮總督府及臺灣總督府ノ
各特別會計ニ於ケル、今回ノ煙草ノ値上ニ
因ル增收額ノ一部ヲモ、臨時軍事費ノ財源

○委員長(公爵島津忠承君) 只今御説明ノ
アリマシタ法律案ニ對シテ御質疑ガアリマ
スナラバ、此ノ際御願致シタイト思ヒマス、
別ニ御質疑モナイヤウデアリマスカラ本日
ハ此ノ程度デ散會致シマス、明日午前十時
ヨリ開會致シマス、本日ハ是デ散會致シマ
ス
午前十一時三十六分散會
出席者左ノ如シ

- | | |
|------|----------|
| 委員長 | 公爵島津 忠承君 |
| 副委員長 | 子爵秋田 重季君 |
| 委員 | 侯爵筑波 藤鷹君 |
| | 伯爵大木 喜福君 |
| | 子爵安藤 信昭君 |
| | 光行 次郎君 |
| | 中川 健藏君 |
| | 大野綠 一郎君 |
| | 男爵飯田精太郎君 |
| | 黑崎 定三君 |
| | 男爵松田 正之君 |
| | 男爵神山 嘉瑞君 |
| | 竹内 可吉君 |

- | | |
|------|------------------|
| 政府委員 | 朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君 |
| | 臺灣總督府財務局長 中嶋 一郎君 |
| | 大藏次官 谷口 恒二君 |
| | 貴族院事務局 |

- | | |
|-----------|--------|
| 大藏省營繕管財局長 | 濱田 幸雄君 |
| 大藏省國民貯蓄局長 | 氏家 武君 |
| 大藏書記官 | 河野 一之君 |
| 同 | 加藤 八郎君 |